rin art association

「The Scene(Berlin)#03」2020, 181 x 121 x 3(cm)
写真、アクリル、木材、鉄
photo by Shintaro Yamanaka (Qsyum!)

滝沢 広「The Scene(Berlin)」

2020.11.1(sun) ー 12.27(sun)

　この度、rin art association では、滝沢 広「The Scene(Berlin)」を開催いたします。
　ベルリンの地下鉄の鏡に映った像に焦点を合わせて撮影された写真と同じ鏡の表面をハンドスキャナーでスキャンして得た像の組み合わせで構成された「The Scene(Berlin)」シリーズと、以前よりモチーフとしてきたコンクリートを素材にし、コピー用紙に定着した像とコンクリートの模様の像の関係性を提示した「Mood of the Statue 塑像の気配」シリーズを中心に構成される本展。

　自身初の映像作品「Tears」はマン・レイのオマージュとして制作されています。水面に浮かぶ睡蓮の葉、葉の上の水滴、葉の上に登場するコバエ、水面に映された枝の虚像。そして鳥のさえずり。映像の終盤では虚像であるはずの水面に映された枝の方に焦点が合い出します。これは作者が意図的にフォーカスを変えたのではなく、カメラの AF（オートフォーカス）センサーによる誤作動によるものです。そこに実体があるものと判断し、焦点を変える行為はカメラという機械に意志があるように感じると同時にイメージの曖昧さを表しているようでもあります。
様々な対象が映像という一つのシークエンスの中で重なり合い、観者が見ている対象や感情を揺さぶります。

実体と実像、素材とイメージの境界線を捉え直す滝沢広の最新作を是非ご高覧下さい。

滝沢 広（たきざわ ひろし）
　1983 年、埼玉県生まれ。目白大学人間社会学部心理カウンセリング学科卒業。
日常的な素材や人間不在の光景から、ものの気配を引き出す写真作品で知られる。『コンクリート・イズ・オン・マイ・マインド』(2014) や『Mass』(2015) ほか、特殊な印刷技術を用いた手製本を出版。テートモダンの「エフェクト・ツイン」(2015 年、ロンドン) で行われたプリンティングの実演をはじめ、展覧会のみならず国内外のイベントに多数参加。
主な展覧会に「New Photographic Objects 写真と映像の物質性」（埼玉県立近代美術館、埼玉、2020）,「VOCA 展 2019 現代美術の展望ー新しい平面の作家たち」（上野の森美術館、東京、2019 年）「figure」（実家 JIKKA、東京、2014 年）など。

［水ー日］11：00 - 19：00 ［月ー火］休廊

contact
rin art association
370-0044　群馬県高崎市岩押町 5-24
t : 0273-87-0195　e : contact@rinartassociation　w : http://rinartassociation.com